



駒林小 学校便り

平成29年度

4月号

4月 5日発行

桜の下での新たな出会い

校長 柴田 篤志



今年の桜は、子どもたちの進学や進級を祝うように、今、まさに満開です。久しぶりに桜の下で始業式、入学式を迎えることができました。また、昨年、5年生が保育園の園児とともに植えたチューリップが、色とりどりの花を咲かせ始めました。

4日には、新6年生が、1年生の教室の飾りつけ、各教室の机・いすの準備、式場の準備や階段・昇降口の清掃などを行ってくれました。てきぱきと行う姿に最高学年としての自覚がうかがえました。

いよいよ平成29年度のスタートです。2週間ぶりに子どもたちの笑顔が学校に戻ってきました。4月は、子どもたちにとっても、教職員にとっても、様々な出会いの季節です。その出会いが、初めから気持ちよくできたら、この一年間がとても素晴らしいものになるに違いありません。そんな素敵な出会いの出発でありたいと願っております。本年度、新1年生84名を迎え、全校児童545名のスタートです。本校では、幼稚園や保育園との交流を通して、子どもの育ちや学びの連続性を図る教育を推進しています。1年生が早く学校に慣れ、安心して楽しい学校生活を送ることができるようなスタートカリキュラムを実施しています。

3月に15名の職員が離任しましたが、4月には16名の職員を迎えました。教職員一同、力を合わせながら、愛情をもって子どもたちを育ててまいります。

「えがおいっぱい 未来にはばたく 駒林の子」

学校教育目標

- 問題解決に向けて、主体的に取り組む子を育てます
- 自他の思いや人とのかかわりを大切にする子を育てます
- 生命を尊重し、健康な心や体をつくる子を育てます
- 学校や地域に愛着をもち、自分のできることを考えながら行動する子を育てます
- 進んでさまざまな人やものとふれあいながら、社会への視野を広げる子を育てます



本年度も、保護者の皆様、地域の皆様の温かなご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。